

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 4年 5月 26日

学校名 清水西小学校

校長氏名 長谷川 季美

1 今年度の目標（学校の約束）

- ① 学校で節電・節水に努めます。
- ② 清水西地区の環境、地球環境について学習します。
- ③ 家庭・地域と連携し、清掃活動やリサイクルに努めます。





2 取組内容

- ① 節電・節水の取組
 - ・ 環境美化委員が放送での節水・節電に対する呼びかけや環境パトロールを行い、全校に資源を大切にしようと呼びかけます。
 - ・ 花壇や池には、雨水を利用します。
- ② 環境学習
 - ・ 5年生が環境の学習に取り組みます。
昔ながらの方法での米作り体験を通して地域の環境に目を向けていきます。体験を通して学んだ清水西地区のよさについて、農業体験感謝祭や総合的な学習の発表で家庭や地域の人に発信します。
- ③ 清掃活動・リサイクル
 - ・ 家庭・地域と連携してアルミ缶回収を毎月2回行います。また、資源回収を7月・10月に行います。
 - ・ 夏休みに親子奉仕作業行い、学校環境清掃活動に取り組みます。

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載して下さい。）

②の環境学習の発表では、自分の気持ちや考えを伝えるとともに、友達の考えを尊重しながら積極的にコミュニケーションをとる力を身につけます。また、地域に対し積極的に発信することで、ものごとに主体的に参加しようとする態度を育てます。

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h1>清水西小学校</h1>	
<p>1 今年度の目標 (学校の約束)</p> <ul style="list-style-type: none">① 学校で節電・節水に努めます。② 清水西地区の環境、地球環境について学習します。③ 家庭・地域と連携し、清掃活動やリサイクルに努めます。	
<p>2 取組内容</p> <p>④ 節電・節水の取組</p> <ul style="list-style-type: none">・ 環境美化委員が全校児童に対し、放送や掲示物で、節水・節電の意識を高めることができるように呼びかけを行いました。今年度も、新型コロナウイルス感染防止対策として、手洗い時の3密を避けるために特別教室の手洗い場を常時使用していますが、特別教室の電灯スイッチや手洗い場に貼られた節水・節電の掲示物によって、水道や電気を大切に使う態度が見られました。・ 近年、トイレを使用していない時にも電気がつけばなしになっていることがありましたが、呼びかけにより本年度はかなり改善されています。・ ボイラーによる暖房の室温の基準になる教室の戸を使用後に閉めるように呼びかけることで、燃料を節約することができました。 <div data-bbox="336 1200 788 1507"></div> <div data-bbox="933 1205 1257 1507"></div> <p>⑤ 環境学習</p> <ul style="list-style-type: none">・ 5年生は、総合的な学習で、田植えや稲刈りなど昔の方法での米作りを体験しながら、地域の特徴に目を向け、環境学習に取り組みました。体験を通して学んだことをもとに清水西地区の自然の豊かさや恵みについてまとめたり伝えたりすることができました。 <div data-bbox="963 1563 1423 1886"></div>	

⑥ 清掃活動・リサイクル

- ・ 家庭・地域と連携してアルミ缶回収を月2回行いました。資源回収は、7月と10月の2回行うことができ、昨年よりも多い15t以上の紙類を回収することができました。
- ・ 8月の日曜日にPTAの協力の下、親子奉仕作業で学校環境清掃活動を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、本年度も中止しました。



★ ESDポイント

②の環境学習の発表では、調べたことや自分の思いを伝えるとともに、友達の考えを尊重しながら積極的にコミュニケーションをとる力を身に付けました。また、伝える相手を意識して、自分の思いや感謝の気持ちを積極的に発信することで、ものごとに主体的に関わろうとする態度を育てました。

【具体的効果】

- ・ 本校の5年生は、総合的な学習の時間に、米作りについて外部講師の方をお招きしていろいろなことを教わりながら学習しています。ここ数年、コロナ禍のためにできなかった田植えや稲刈りなどの体験活動も今年行うことができたおかげで、農作業の大変さだけでなく作業が終わった時の喜びや収穫の喜びを心から味わうことができました。自然の恵みや環境に感謝すると同時に、自然を大切にしようとする意識や地域を愛する心が育まれてきています。
- ・ 他学年でも栽培活動や動植物の観察など、生活科や理科、家庭科の学習だけでなく、委員会活動でも児童自らが省エネについて考え、意識して行動がとれるようになってきています。

【改善点】

- ・ 近年、コロナ禍のため、米作りの様子を見学する農作業もありましたが、今年は田植えや稲刈りなど主要な活動を予定通り行うことができました。そのため昔ながらの方法での米作り体験を通して、農作業の経験以外にも水田に住む虫や植物に目を向けながら体験活動を行うことができ、水田の環境についても理解を深めることができました。次年度も新型コロナの状況を見ながら、米作りが地域の環境保全や伝統文化を支えていることにも関連付けて取組を行っていきたいと考えています。
- ・ 使用していない部屋の電気を消すことなどを呼びかけることにより、以前より状況は改善されてきています。しかし、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染予防対策のために、節電を呼びかけながらも換気を行っていたために、節電の効果が見えにくいのが現状です。また、委員会活動を中心にすえながら実践を行っていますが、マンネリ気味になってきているのも事実です。今後は、省エネに関する取組が少しでも充実するように取組内容を考えていかねばならないと考えています。

3
見直し